

# 一般社団法人日本循環器看護学会 平成 30 年度 臨時書面理事会議事録

平成 31 年 2 月 8 日(金)開催  
平成 31 年 2 月 20 日(水)決議

## 添付ファイル

- 平成 30 年度臨時書面理事会議事次第(平成 31 年 2 月 6 日開催)(本紙)
- 資料1-1 第 25 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会におけるジョイントセッションに関するご依頼
- 資料1-2 ジョイントシンポジウム開催のお願い
- 資料2-1 H30 医療技術評価提案書(日本循環器看護学会)
- 資料2-2 H30 医療技術評価提案書(既収載)日循看

## 審議事項

1. ジョイントシンポジウム座長について(仲村国内交流委員長)(資料 1-1、1-2)  
先方よりジョイントシンポジウムの開催の依頼と座長の推薦があり、国内交流員会で審議・承認し、先方に報告させていただきました。理事会の事後承認をいただきたくお願いいたします。

### ①日本心臓リハビリテーション学会学術集会でのジョイントシンポジウム座長について

座長 宮脇郁子先生 →承認されました

### ②日本不整脈心電学会学術集会でのジョイントシンポジウム座長について

座長 眞茅みゆき先生 →承認されました

### 2. 次期診療報酬改定に向けた提案(看保連へ提出)について(山田政策・診療報酬委員長)

下記事項につきまして、先方への報告期日が迫っておりましたので、既に提出させていただきました。理事会の事後承認をいただきたくお願いいたします。

①心不全重症化予防指導管理料について(新)(資料 2-1) →承認されました

②在宅患者訪問看護・指導料について 3(対象患者の拡大)(資料 2-2) →承認されました

提案理由:メンバー間で課題を話し合っておりましたが心不全患者の外来-入院-在宅のプロセスを一貫してマネジメントする体制、緩和ケア、重症化予防、在宅療養支援の必要性があがりました。中でも心不全ケアチーム等を構築し、増加する心不全患者に積極的にアプローチをしている医療機関が増加していること、更に外来或は入院患者に留まらず、訪問看護ステーション等と協働して在宅療養患者にも対象を拡大していることから、心不全ケアチームの活用による重症化予防と緩和ケアも含めた在宅療養中の心不全患者へのケアについて認定看護師等の評価も踏まえ、この 2 点を提案します。

尚、2 月 14 日開催の看保連には、山田委員長が出席予定です。

### 3. 第 16 回日本循環器看護学会学術集会優秀演題選考委員選出について(眞茅第 16 回大会長)

優秀演題選考委員選出につきまして、下記の先生方を選出する予定です。審査委員候補者の先生方の内諾は理事会での審議を経て内諾をとります。理事会の承認をいただきたくお願いいたします。

(◎委員長)

◎三浦英恵先生(日本赤十字看護大学 教授)

大江理恵先生(大阪府立大学 准教授)  
徳永友里先生(横浜市立大学 講師)  
大津美香(はるか)先生(弘前大学 准教授)  
宮園真美先生(福岡看護大学 教授)

→承認されました

以上